

特別支援学級の設置及び支援員の配置状況

(平成28年5月1日 現在)

小学校	通常		特別支援 (合計)		学級設置										支援員配置					
					知的		自閉症・情緒		肢体不自由		難聴		病虚弱		助手	補助員	生活 介助員			
					方式		自校		自校		拠点校		随時					随時		
					学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	人数	人数
1 帯広	7	164	5	29	1	2	9	1	3	20				0	0	1	1			
2 西	8	203	4	27	1	1	3		3	24	1						1			
3 柏	12	395	4	30	2	1	7	1	3	23	1						2	1		
4 明星	14	448	5	34	4	2	15	1	3	19	3					1	1	3		
5 緑丘	15	476	6	39	4	2	12	3	4	27	1					1	2			
6 北栄	11	296	3	18	1	1	3	1	2	15							2			
7 光南	12	310	5	30		2	9		3	21						1	1			
8 東	7	180	3	12		1	2		2	10							2			
9 啓西	12	393	3	15	1	1	2		2	13	1						2			
10 稲田	18	572	5	29	1	2	12	1	3	17						1	2			
11 豊成	19	627	6	37	3	2	11		3	22	3	1	4				3	5		
12 大空	12	312	4	24		2	14		2	10						1	2			
13 栄	13	386	5	31	1	1	5		4	26	1						3	1		
14 若葉	14	408	4	21		2	10		2	11							2			
15 広陽	12	324	5	34		1	7		3	23		1	4			1	2	5		
16 花園	6	177	2	10		(今後開設予定)			2	10							2			
17 啓北	12	372	3	17		1	5		2	12							2	1		
18 開西	11	250	4	16	1	1	2	1	2	13										
19 明和	12	345	7	43		2	14		4	28				1	1		2	1		
20 森の里	9	251	3	21	1	1	6	1	2	15							2	1		
21 つつじが丘	9	224	4	24	2	2	9	1	2	15	1						2	1		
22 川西	6	135	2	3		1	1		1	2										
23 清川	6	59	2	7		1	2		1	5							1			
24 広野	3	35	2	4		1	1		1	3										
25 大正	6	99	2	8	1	1	7	1	1	1							1	2		
26 愛国	4	34																		
小学校計	270	7,475	98	563	24	34	168	12	60	385	12	2	8	1	1	1	1	7	41	21

特別支援学級の概要

学級種別	児童生徒の障害の程度	設置校数	
		小	中
知的	知的発達の遅滞により、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要	24	13
自閉症・情緒	自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難	25	14
肢体不自由	補装具によっても、歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難	2	
難聴	補聴器等の使用によっても、通常の話声を解することが困難	1	-
病弱・身体虚弱	疾患・身体虚弱の状態により、持続的・間欠的に医療・生活の管理が必要 (帯広小、翔陽中については、長期入院中の児童生徒を対象とした院内学級)	2	2

(平成28年5月1日 現在)

中学校	通常		特別支援 (合計)		学級設置										支援員配置							
					知的		自閉症・情緒		肢体不自由		難聴		病虚弱		助手	補助員	生活 介助員					
					方式		自校		自校		拠点校		随時					随時				
					学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	人数	人数	人数	
1 第一	14	466	5	27	1	2	10		3	17	1							2				
2 第二	9	299	2	13		1	6		1	7								2	1			
3 第四	9	284	5	29		2	9		3	20								3				
4 第五	10	315	4	23	4	2	14	4	1	7		0	0			1	2	3	1			
5 第七	3	69	2	3		1	1		1	2												
6 第八	12	399	5	36		1	7		4	29							1	1				
7 大空	6	179	2	6		1	4		1	2								1				
8 南町	17	625	3	17		1	4		2	13								2	1			
9 西陵	12	434	2	8		1	1		1	7								1				
10 緑園	9	286	5	27	5	2	10	2	3	17	3							1				
11 翔陽	14	469	5	35	2	2	14		3	21	2					0	0	1	2			
12 川西	3	66	2	4	1	1	1		1	3	1											
13 清川	3	21	2	4		1	1		1	3												
14 八千代	3	15	1	1					1	1												
中学校計	124	3,927	45	233	13	18	82	6	26	149	7							1	2	3	17	3
総合計	394	11,402	143	796	37	52	250	18	86	534	19	2	8	1	1	2	3	10	58	24		

(補足：方式)

- 自校 …… 校区の学校に特別支援学級を設置する方式。対象児童生徒のいる全学校へ設置することと同義。
- 拠点校 …… 特定の学校にのみ特別支援学級を設置し、これを拠点校として、対象の障害を持つ他校区の児童生徒も含め在籍する方式。
- 随時 …… 対象の障害をもつ児童生徒の就学に際し、合理的配慮のもと、校区（または近隣）の学校への開設を検討。

(補足：うち校区外)

知的学級及び自閉症・情緒学級は、自校方式にも拘らず、校区外から通学している児童生徒が一部存在している。緑丘小の知的学級を除き、全て止むを得ない事由による区域外通学または校区の学校に学級が開設される前から在籍している児童生徒である。

特別支援教育支援員の役割・業務内容

支援員種別	役割・業務内容	配置校数	
		小	中
助手	特別支援学級の運営に際し、教員の補助を行う（H19より補助員に順次移行）（学校に配置）	7	3
補助員	教員の指示のもと、障害や学習困難等を抱える児童生徒の支援・補助を行う（学校に配置）	23	9
生活介助員	学習上・生活上の困難に対し、直接的な身体介助等により必要な支援を行う（児童生徒に配置） (医療的ケアを要する児童生徒については、看護師資格を有する介助員を配置)	10	3

学校支援地域本部事業とは

～地域ぐるみで学校運営を支援する体制を整備～

学校支援地域本部は、これまでもそれぞれの学校において行われてきた学校を支援するボランティア活動を、組織的なものとするこゝで、より効果的に学校の支援を図ろうとするものです。

～どんな活動をしているの？～

帯広市では、14の全中学校区に学校支援地域本部を設置し、平成25年度から市内全小・中学校40校で活動が行われています。各学校では、地域の特色に合わせて次のような活動を行っています。

1. 学習活動支援



授業のサポート



長期休業中の学習会

2. 体験活動支援



サケの受精体験

支援

- ・学習支援
- ・環境整備
- ・部活動指導
- ・学校行事開催
- ・登下校の見守り
- など



お茶会の体験

3. 環境整備支援



P T A 環境整備

学 校

地域コーディネーター
調 整

学校支援ボランティア

P T A 地域 各団体

成果

- ・教育環境の充実
- ・社会性の向上
- ・読書活動の充実
- ・学習会の定着
- ・地域の連携
- など

5. 学校行事等支援



夏祭り協力



文化祭バザー協力

4. 見守り活動



登下校の見守り



朝読書の見守り

こども学校応援地域基金プロジェクト

「帯広市こども学校応援地域基金」の創設や既存事業の充実強化を図りながら、帯広の未来を拓く子供達を、地域社会総ぐるみで応援する仕組みづくりと気運を高める

＝既存の枠組＝

各団体が様々な事業を通して、子供達の健全育成を支援

学校支援
地域本部事業

放課後子ども広場
(居場所づくり)

子どもの見守り活動

学校図書ボランティア

町内会活動

生涯学習推進委員会
(コミュニティ講座)

保育所での地域活動

課題

- ▲ボランティアの固定化、高齢化
- ▲活動費の不足
- ▲コーディネーターやボランティアの人材確保
- ▲横の人材のつながりや連携の弱さ

各課で行われて
いる様々な取組

その他の取組

ワンプレート構想

学校支援
地域本部事業

放課後子ども広場
(居場所づくり)

子どもの見守り活動

学校図書ボランティア

町内会活動

生涯学習推進委員会
(コミュニティ講座)

保育所での地域活動

その他の取組

緩やか
な
広
げ

効果

こども学校応援地域基金プロジェクト

帯広市こども学校応援地域基金の創設

こども学校応援地域事業
(推進委員会の設置)

更なる 活動の展開

各課事業の連携による
人材の広がりや発掘

広報活動の強化による
市民周知の拡大

世代交代の促進
新たなリーダーの育成

財源の確保による
安定した取組の実現と充実

帯広の未来をつくる子供たちを、地域総ぐるみで応援する気運を高めていきましょう

こども学校応援地域基金プロジェクトとは？

帯広の未来をつくる子供たちの成長のために、学校・家庭・地域総ぐるみで支援する気運をこれまで以上に高めることを目的として、既存の様々な取り組みのネットワークを構築するため、平成27年5月から始めました。

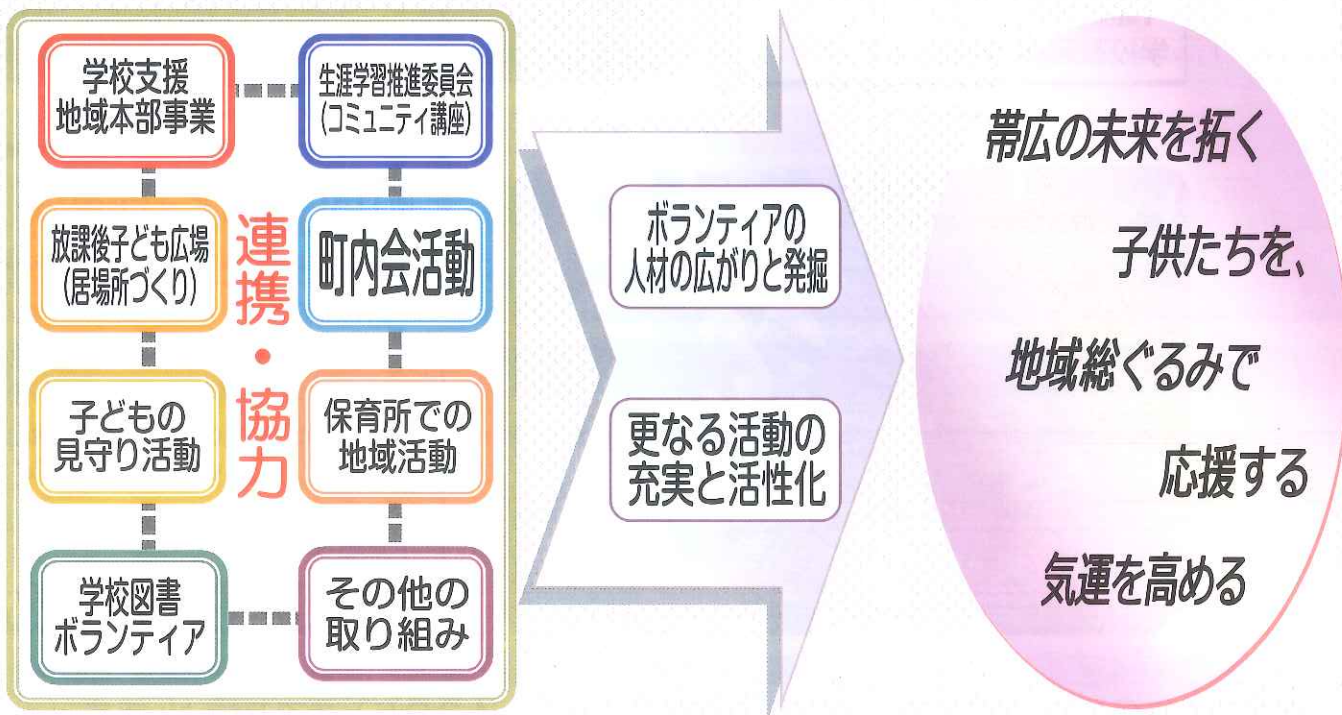
プロジェクトの具体的な取組内容は？

プロジェクトは、次の2つの大きな取り組みで構成しています。
 一つは、子供に関わる活動をしているボランティアの連携を深めていくことです。
 もう一つは子供たち向けの行事等に取り組むボランティア活動を支援するための基金の創設です。

自分にも何かできるの？

まずは、様々なボランティア活動に参加し、直接子供たちの活動の支援を行ってみませんか。
 また、金額の大小に関わらず、帯広の子供たちを支える活動に寄附をすることもできます。
 興味を持たれた方は、ぜひ帯広市教育委員会までご連絡願います。
 【連絡先】65-4205

プロジェクトイメージ



子供の笑顔に触れながら、自分のやりがいや生きがいを見つけてみませんか？

～こども学校応援地域基金プロジェクト～

を紹介します



平成27年8月22日(土) 啓北みんなの盆踊り

子供たちは多くの大人との触れ合いや様々な体験を通して、学ぶ意欲や豊かな感性、規範意識などを身に付け、健やかに成長していきます。
 このため、学校や家庭、地域が幅広く連携し、地域総ぐるみで子供たちの健やかな成長を支える仕組みづくりや気運を高めていくことが大切です。
 帯広市では、学校・家庭・地域と子供に関わる様々な活動を行っている団体やボランティアの連携を深め、支援していくことを目的として「こども学校応援地域基金プロジェクト」をすすめています。

発行：帯広市教育委員会
 電話0155-65-4205
 FAX0155-23-0161

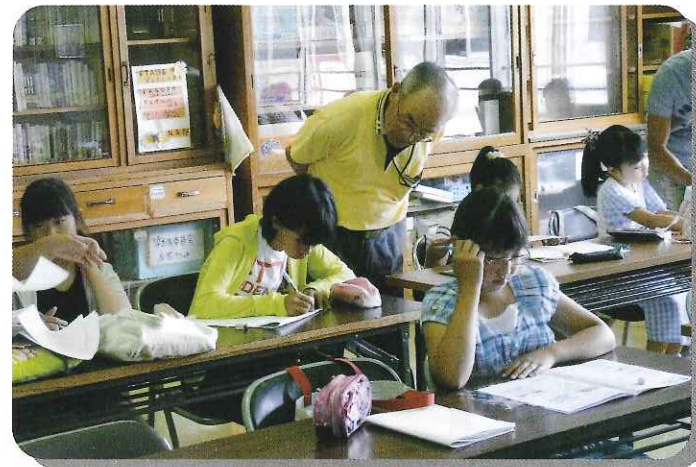
こども学校応援地域基金プロジェクトに関する情報は、帯広市のホームページ(こども・学校への応援ページ!)でもご覧いただけます。

帯広市では、例えばこんな活動をしています。

学校支援 地域本部事業

市内全小中学校で、地域の特色に合わせ、地域と学校が連携・協力して、学習活動支援、環境整備支援、体験活動支援、学校行事支援などを行っています。

【連絡先】
学校教育指導室 ☎65-4205



生涯学習推進委員会 (コミュニティ講座)

市内全小学校区で、地域のボランティアの方が、地域に根ざした生涯学習推進のため、子供から高齢者までを対象とした「コミュニティ講座」を開催しています。

【連絡先】
生涯学習課 ☎65-4192



連携 ● 協力

放課後子ども広場 (居場所づくり)

市内全小学校区で、PTAや地域のボランティアの方が放課後や週休日などに、子供たちが安心して過ごすことができるよう、工作などの体験活動を行っています。

【連絡先】
青少年課 ☎65-4162



学校図書ボランティア

小・中学校の学校図書館でPTAや地域のボランティアの方が新刊図書の受け入れ、本棚の整理、破損本の修理、絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行っています。

【連絡先】
学校教育課 ☎65-4203



子どもの見守り活動

市内全小中学校で、子供たちが犯罪や交通事故に遭わないよう、PTAや地域のボランティアの方々が中心となって、登下校時の見守り活動を行っています。

【連絡先】
企画総務課 ☎65-4201



町内会等との連携

各地域では、学校や町内会、老人会などと連携して子供たちのために夏祭りや餅つきなどを行い、地域の方々が密接に関わって、安心安全な地域づくりに取り組んでいます。

【連絡先】
市民活動推進課 ☎65-4130



あなたも
ぜひ!

ボランティアに参加してみませんか? お問い合わせは、各連絡先または帯広市教育委員会 学校教育課 学校教育指導室 (65-4205) までお願いします。

こども学校応援地域基金

「こどもたちを応援したい」

その想いをかたちにするため、この基金は生まれました。

地域ぐるみでこどもたちを応援し、生き生きと学び遊ぶ「おびひろっ子」を育みたい。
そして、挨拶が響き渡り、こどもも大人も元気になる「まち」をつくりたい。
その想いを込めて、平成28年3月「帯広市こども学校応援地域基金条例」を制定しました。
基金では、皆様からいただいた寄附金を、地域ぐるみでこどもを応援する活動の資金などに
充てさせていただきます。



農園での草取り指導（啓西小学校）



ピザ作り体験（啓北小学校）

～様々な『こどもたちを応援する』かたち～

- 学校支援地域本部事業での学習活動支援や、放課後子ども広場での体験活動、町内会での活動など、学校や家庭、地域が一緒になって、こどもたちを応援している活動があります。
- 『こども学校応援地域基金』に寄附をすることで、地域ぐるみでこどもたちを応援する活動を資金面で支えることもできます。

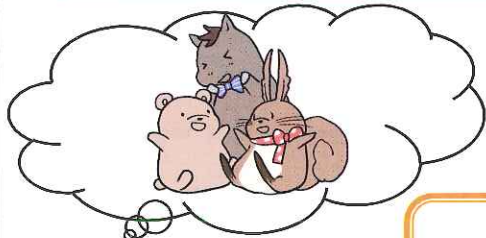
こどもたちを応援する活動に参加してみませんか？

（お問い合わせ先については、裏面をご覧ください）

◆寄附金がこどもを応援する活動を支えます！

こどもたちを応援するためにいただいた寄附金は、こども学校応援地域基金を通じて、地域ぐるみでこどもを応援する活動の資金などに充てさせていただきます。

皆様のご好意が、活動を支え、こどもたちの笑顔へとつながっていくことが期待されます。



①
寄附金

こども学校応援地域基金

②
活動資金

地域ぐるみでこどもを応援する活動



様々な取り組みを行っている団体同士が、より一層連携・協力してこどもを応援します。

《活動の具体的なイメージ》



北栄小学校での子ども祭り

学校を会場にして、縁日や、食べ物コーナーなど、いくつもの催しが集まった『子ども祭り』を開催するなど、一つの団体だけではできないことを、様々な団体が協力して行う活動です！

【参加団体の例】



◆もっと詳しいことを聞きたいときは？

下記のお問い合わせ先にご連絡ください！

また、当基金に関する情報は、帯広市のホームページ（こども・学校への応援ページ！）でもご覧いただけます。

★★お問い合わせ先★★

帯広市教育委員会 学校教育部 企画総務課

【住所】帯広市西5条南7丁目1番地（8階）

【電話】0155-65-4201 【FAX】0155-23-0161

【メール】school_general@city.obihiro.hokkaido.jp



適正規模を下回る場合の方策例

1 通学区域の変更

2 学校の統合

3 その他

(1) 小中一貫校

(2) 小規模特認校

適正化にあたっての留意事項例

- ①児童生徒数の推移と将来推計
- ②保護者等の意見聴取
- ③学校施設の状況
- ④学校の歴史的経緯や地域性等
- ⑤隣接学校との配置関係等
- ⑥エリアファミリー（小中連携・接続）構想
- ⑦特別支援教育
- ⑧地域コミュニティ
- ⑨効率的、効果的な学校運営